

令和5年度 海外移住と文化の交流センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	海外移住の歴史及び意義の継承、地域に在住する外国人等との交流並びに国際的な芸術の交流を通じて、多様な文化が共生するまちづくりに資することを目的として、平成21年6月に開設。以下の3つの機能を併せ持つ複合施設。 ①希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム機能) ②多文化との共生の広場(在住外国人支援機能) ③芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流機能)
(2)指定管理者	海外移住と文化の交流センター共同事業体 【代表者】株式会社カワサキライフコーポレーション 【構成員】一般財団法人日伯協会（以下、「日伯協会」） 【構成員】特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティCBK（以下、「CBK」） 【構成員】特定非営利活動法人芸術と計画会議（以下、「C.A.P.」）
(3)指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
(4)R5市支出額(単位:円)	協定締結額50,244,000円 決算額..... 49,337,958円 (差額.....906,042円は修繕費として精算戻入)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	5年度の状況
①施設の維持管理業務	・常勤1名を含む5名体制で施設の維持管理業務にあたった。 ・設備の保全や清掃業務は外部に委託し、法令点検や定期点検等を行った。 ・館内外の美観の維持に特に配慮し、館内清掃はもとより、正面広場の芝生整備、植栽など、来館者に好感を与えるための施設整備を積極的に行った。 ・他方で、改修から15年が経過しており、本館北側の外壁剥離や、屋上防水シート経年劣化による雨漏れの発生など施設の老朽化が目立つようになってきている。

	②施設の運営業務	○開館日数 308日 ○開館時間 午前9時～午後10時(移住ミュージアムは午前10時～午後5時) ○令和5年度の特記事項は以下のとおり。 ■希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム) (1) 企画展 ・(7/1～10/1開催:1,279人) 「ブラジル日本移民115周年記念 多文化共生をめざす 日本のブラジルトゥーン」 ・(1/27～3/31開催:707人) 「真の国際化に向けて 近畿2府5県の多彩な取り組み」 (2) 常設展(移住ミュージアム) R3.8月より日本語・英語・ポルトガル語の3言語の音声ガイド(無料)開始) (3) 自主事業 ・日本人を対象としたポルトガル語教室、物販 など ■多文化との共生の広場(在住外国人支援) (1) 南米系日系人を中心とする在住外国人支援 ・日系人の生活相談支援:608件対応 ・日系の子どもたちに対する日本語学習支援教室・母語教室、就学支援 ・成人日系ブラジル人向け日本語教室 ・情報資料室の運営(学習に役立つ書籍収集・活用) (2) 交流事業(在住外国人、ブラジル学校・日系人団体、地域住民) ・アルゼンチン祭等の地域住民との交流イベントの実施 ・クリスマス会、サッカー教室の開催 (3) 自主事業 ・ブラジル・日本の子どもの絵の交流展の開催(日本8校、ブラジル76校) ・子どもの音楽交流会等の交流イベント多数実施 ・在名古屋ブラジル総領事館による移動領事館開催支援 ■芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流) (1) オープンスタジオ活動 ・アーティストの制作プロセスを公開する「公開アトリエ事業」を実施 :アトリエ12室、7,103人 (2) 企画展覧会を実施し、国内外のアーティストの作品を展示 :20回開催、6,790人 (3) 市内の他施設4館とのスタンプラリー連携事業の実施 (4) 自主事業 ・1Fスペースのカフェ運営・イベント実施:2,932人 ■3つの広場の連携事業 ・市内大学生と連携したYouTube企画 (R3年10月開設、登録者数132名、視聴回数5,991回(R6年4月時点)) ・中南米音楽祭:7/23、10/15、1/21の3回開催、計150名参加 ・ブラジル移民祭:131人 ・フェスタジュニナ(収穫祭):130人 ■その他 ・instagramでの発信(R3年4月開設:フォロワー757人) ・CBK理事長松原マリナ氏が死去(2024.3) ・来館者の利便性向上のため飲料自動販売機の設置 ・神戸観光局(R3加入)とともに施設PRを行っている
	③その他の業務	
(2)利用状況		5年度の状況 ・入館者数:令和5年度51,704人(対前年度比114.2%) 令和4年度45,258人(対前年度比114.3%) ・新型コロナウイルスの影響を受けて、コロナ禍前に比べて減少しているが、神戸観光局へ入会することで施設の周知PRをするなど努力し、昨年度に比べ入館者数が増加した。 ・神戸観光局に加入しており、新神戸駅、三ノ宮駅、北野町の案内所に継続してパンフレットを持ち込み、PRしてもらっている。また、引き続き、市内大学生と C.A.P・CBK・日伯協会のコラボレーション企画として、移住センターにまつわる人や歴史を短く紹介する YouTube 動画を制作し配信。 ・貸館対象施設の稼働率(コマ数方式、年間平均、カッコ内は前年) [全館トータル] 42.0%(66.4%) [1Fホール(南)] 44.5%(37.0%) [2F多目的室] 100%(100%) [2Fセミナールーム] 12.2%(13.5%) [3F小会議室] 9.2%(66.5%) [3F大会議室] 9.1%(66.5%) [3Fギャラリー③] 39.0%(100%) [4Fギャラリー①] 75.3%(100%) [4Fギャラリー②] 75.6%(100%) [5Fホール] 12.3%(14.2%)
	①施設利用状況	

	②その他利用状況	・駐車場利用台数 令和5年度:3,926台(約 13台/日) 令和4年度:3,852台(約 13台/日)
(3)収支状況		5年度の状況
	①使用料または利用料金収入	[貸館事業]・活動支援室 令和5年度480,000円 令和4年度480,000円 ・会議室等 令和5年度409,500円 令和4年度491,900円 [駐車場使用料] 令和5年度959,500円 令和4年度931,100円 ※センターへの入館及び移住ミュージアムの見学は無料
	②指定管理者の収支状況	神戸市支出額 49,337,958円 使用料収入 3,626,595円
(4)その他		5年度の状況
	①行動指針に対する対応	・行動指針に則った対応をし、多文化共生及び地域活性化の拠点になるよう各事業を実施している。
	②来館者に関する特記	・国内で唯一現存する移住関連施設であることから、大学の研究グループ等による来館がある。 令和5年度:58大学(うち関西圏外29、海外5)のべ87回 令和4年度:60大学(うち関西圏外27、海外0)のべ100回 ・その他、自治体関係者、高校、中学、海外からの視察 等

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	・入館者数 53,000人 ・貸館稼働率 55%	・入館者数 51,704人(未達成:達成率97.5%) ※5月、新型コロナウイルスの扱いが2類から5類に変更となり、外出制限等の影響も完全になくなったこともあり、昨年度比14.2%増加した。昨年度:45,258人 ・貸館稼働率 42.0%(未達成)
②収入目標額	・貸館事業 380,000円 ・駐車場・・・目標設定なし	・貸館事業 409,500円(達成:達成率107.8%) ・駐車場 959,500円
③その他新たなサービス		

4. 利用者の満足度調査等

	5年度の状況
①満足度調査の実施内容	・調査方法:来館者にできる限り声をかけ用紙を交付し、記入を依頼。 ・調査期間:常時 ・回収件数:令和5年度 551件(令和4年度738件) ・質問項目:来館目的、知った方法、来館回数、展示内容の評価、館内環境、スタッフの対応に対する評価、再訪の意向、同伴者の有無など ・イベント開催時は会場で配布・回収し、回収活動ができるだけ来館者に見える形になるよう工夫。
②満足度調査の結果	【施設全般】 ・来館目的(重複回答あり、カッコ内は前年) 移住ミュージアム:51(53)%、在住外国人支援:4(4)%、国際芸術交流:28(4)%、イベント6(25)%、貸館利用2(1)%、その他22(22)%、未記入3(5)% ・知った方法(重複回答あり、カッコ内は前年) HP7(11)%、観光案内所2(2)%、イベントチラシ8(7)%、インスタグラム1(1)%、新聞4(3)%、学校32(27)%、紹介24(23)%、通りがかり8(9)%、その他15(20)%、未記入2(6)% ・展示内容 とても良い:55(54)%、良い:28(29)%、普通4(5)%、あまり良くない:0(0)%、良くない:0(0)%、未記入:12(12)% ・再訪の意向 ぜひ来たい:50(48)%、来るかも:43(45)%、来ない:2(2)%、未記入:4(4)% ・スタッフの対応 良い:86%、普通:11%、悪い:0%、未記入:3%

	③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	・利用者の意見の大半は、「展示内容やスタッフによる説明が分かりやすい」「日本とブラジルの関係を知らなかったので勉強になった」など大変好評であった。日系ブラジル人の訪問もあり、「自分の家族がブラジルに着く足取りを知ることができた」など感想もあった。 ・一方で、「この施設はずっと残して歴史として守ってほしい」「もっと多くの人に知ってもらいたい、知らない人が多く残念だ」など、施設の継続と広報に対する意見もあり、より価値あるわかりやすい展示と、SNSやYouTubeを活用した広報に力を入れていく。
--	-----------------------	--

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所 見	移住の歴史を学ぶ場として社会見学・修学旅行での活用といった学校へのPRや文化財登録等、より多くの人に価値ある施設であることを知ってもらう取り組みを強化するとともに、満足度調査の分析、外部への貸館稼働率向上によって、多くの人に訪れてもらう工夫が必要。複合施設の難しさはあるが、移住ミュージアム、在住外国人生活支援、国際芸術という3つの機能がより連携した取り組みにも期待したい。

令和4年度 海外移住と文化の交流センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	海外移住の歴史及び意義の継承、地域に在住する外国人等との交流並びに国際的な芸術の交流を通じて、多様な文化が共生するまちづくりに資することを目的として、平成21年6月に開設。以下の3つの機能を併せ持つ複合施設。 ①希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム機能) ②多文化との共生の広場(在住外国人支援機能) ③芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流機能)
(2)指定管理者	海外移住と文化の交流センター共同事業体 【代表者】株式会社カワサキライフコーポレーション 【構成員】一般財団法人日伯協会(以下、「日伯協会」) 【 " 】特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティCBK(以下、「CBK」) 【 " 】特定非営利活動法人芸術と計画会議(以下、「CAP」)
(3)指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
(4)R4市支出額(単位：円)	協定締結額50,244,000円 決算額.....48,672,524円 (差額.....1,571,476円は修繕費として精算戻入)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	4年度の状況
①施設の維持管理業務	・全館の統括責任者1名を中心に、施設・設備管理と3つの機能(部門)をそれぞれ担当する4名の運営スタッフの合計5名が常駐し、センターの運営にあたった。 ・設備の保全や清掃業務は外部に委託し、法令点検や定期点検等を行った。 ・館内外の美観の維持に特に配慮し、館内清掃はもとより、正面広場の芝生整備、植栽など、来館者に好感を与えるための施設整備を積極的に行った。 ・昨年度に引き続き電気・ガス等の抑制に努めたが、電力使用量は、新型コロナによる臨時閉館や開館時間の短縮がなく、開館日数が14日増加したため、前年比で2.5%微増した。ガス使用量は、前年比で1.8%減少した。

②施設の運営業務	○開館日数 308日 ○開館時間 午前9時～午後10時(移住ミュージアムは午前10時～午後5時) ○令和4年度の特記事項は以下のとおり。 ■希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム) (1) 企画展 ・(6/25～8/28:1,645人) ・(10/22～12/25:1,116人) (2) 常設展(R3年8月より日本語・英語・ポルトガル語の3言語での音声ガイド(無料)を開始) (3) 移住ミュージアム企画委員会の開催 (4)日本人を対象としたポルトガル語教室 ■多文化との共生の広場(在住外国人支援) ・日系人への生活相談 ・日系ブラジル人の子どもたちに対する日本語学習支援教室・母語教室 ・成人日系ブラジル人向け日本語教室 ・子どもの音楽交流会 ・ブラジル・日本の子どもの絵交流展(日本12校、ブラジル48校が参加) ・大学インターシップ、学習受け入れ(大手前大学、関西国際大学、関西学院大学、神戸大学、天理大学、兵庫県立大学) ・南米諸国のお祭り(フェスタ・ジュニーナ、移民祭)などの集客事業 など ■芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流) (1) 海外からのアーティストを含む様々なアーティストと市民との交流の場として、アーティストの制作プロセスを公開する「公開アトリエ事業」を実施(アトリエ12室) (2) 企画展覧会(18回)を実施し、国内外のアーティストの作品を展示(6,776人) ■3つの広場の連携事業 ・市内大学生と連携したYouTube企画 (R3年10月開設、登録者数57名、視聴回数1,941回(R4年度末時点)) ・中南米音楽祭(7/24、10/9、1/15の3回開催、計121名参加) ■その他 ・instagramを開設(R3年4月より) ・リオ・デ・ジャネイロ市女性活躍推進局長が来訪 ・CBK理事長松原マリナ氏が「旭日双光章」受賞 ・来館者の利便性向上のため飲料自動販売機の設置 ・神戸観光局に加入し、施設PRを行っている (R3年より)
③その他の業務	
(2)利用状況	4年度の状況
①施設利用状況	・入館者数: 令和4年度45,258人(対前年度比114.3%) 令和3年度39,597人(対前年度比126.1%) ・新型コロナウイルスの影響を受けて、コロナ禍前に比べて減少しているが、神戸観光局へ入会することで施設の周知PRをするなど努力し、昨年度に比べ入館者数が増加した。 ・R4年度は、兵庫県デスティネーションキャンペーンに参画して企画展を実施し集客広報をはかった。市内大学生とCAP・CBK・日伯協会のコラボレーション企画として、移住センターにまつわる人や歴史を短く紹介するYouTube動画を制作し配信。 ・貸館対象施設の稼働率(カッコ内は前年) [全館トータル]66.4%(57.2%) [1Fホール]37.0%(44.6%) [2F多目的室] 100%(96.3%) [2Fセミナールーム] 13.5%(13.7%) [3F小会議室] 66.5%(52.8%) [3F大会議室] 66.5%(52.6%) [3Fギャラリー③] 100%(92.5%) [4Fギャラリー①] 100%(72.8%) [4Fギャラリー②] 100%(72.8%) [5Fホール] 14.2%(16.6%)

	②その他利用状況	・駐車場利用台数 令和4年度:3,852台(約 13台/日) 令和3年度 3,684台(約13台/日)
(3)収支状況		4年度の状況
	①使用料または利用料金収入	[貸館事業]・活動支援室 令和4年度480,000円 令和3年度480,000円 ・会議室等 令和4年度491,900円 令和3年度275,800円 [駐車場使用料] 令和4年度931,100円 令和3年度837,000円 ※センターへの入館及び移住ミュージアムの見学は無料
	②指定管理者の収支状況	神戸市支出額 48,672,524円 使用料収入 2,118,094円
(4)その他		4年度の状況
	①行動指針に対する対応	・行動指針に則った対応をし、多文化共生及び地域活性化の拠点になるよう各事業を実施している。
	②来館者に関する特記	・国内で唯一現存する移住関連施設であることから、大学の研究グループ等による来館がある。 令和4年度:60大学(うち関西圏外27、海外0)のべ100回 令和3年度:41大学(うち関西圏外10、海外0)のべ87回 ・その他、自治体関係者、高校、中学、海外からの視察 等

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	・入館者数 53,000人 ・貸館稼働率 55%	・入館者数 45,258人(未達成:達成率85.4%) ※新型コロナの影響下であったが、昨年度比14.3%増加した。昨年度:39,597人 ・貸館稼働率 66.4%(達成)
②収入目標額	・貸館事業 380,000円 ・駐車場・・・目標設定なし	・貸館事業 491,900円(達成:達成率129.4%) ・駐車場 931,100円
③その他新たなサービス	特になし	

4. 利用者の満足度調査等

		4年度の状況
	①満足度調査の実施内容	・調査方法：来館者にできる限り声をかけ用紙を交付し、記入を依頼。 ・調査期間：常時 ・回収件数：令和4年度 738件（令和3年度550件） ・質問項目：来館目的、知った方法、来館回数、展示内容の評価、館内環境、スタッフの対応に対する評価、再訪の意向、同伴者の有無など ・イベント開催時は会場で配布・回収し、回収活動ができるだけ来館者に見える形になるよう工夫。
	②満足度調査の結果	【施設全般】 ・来館目的（重複回答あり、カッコ内は前年） 移住ミュージアム：53(57)%、在住外国人支援：4(1)%、 国際芸術交流：4(2)%、イベント25(20)%、貸館利用1(0)%、 その他22(19)%、未記入5(2)% ・知った方法 HP11(7)%、観光案内所2(3)%、イベントチラシ7(9)%、Instagram 1(0)%、新聞3(3)%、学校27(41)%、紹介23(15)%、通りがかり9(10)%、その他 20(12)%、未記入6(4)% ・展示内容 とても良い：54(64)%、良い：29(27)%、普通5(6)%、 あまり良くない：0(0)%、良くない：0(0)%、未記入：12(3)% ・再訪の意向 ぜひ来たい：48(47)%、来るかも：45(49)%、来ない：2(2)%、 未記入：4(2)%
	③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	・利用者からの指摘については、「ブラジル移民の内容が展示されているのが外から伝わりにくい」や「無料にしては非常に良い内容であるため、もっとアピールしてみてもどうか」との施設の広報に関する意見があった。 ・その他、「語り部など後継者を育成してほしい」、「歴史部会建物を長く残してほしい」といった意見があり、中でも「説明ボランティアの方の説明が非常によく、歴史についての理解が深まり、とても有意義であった」という意見が多数見られた。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	☐ AAA ☒ AA ☐ A ☐ B ☐ C
所 見	新型コロナウイルス感染症の影響もある中で、兵庫県デスティネーションキャンペーンへの参画など積極的なPRの取り組みもあり、来館者数が昨年度と比較し増加している。更なる発展を期待する。

所管課：市長室国際部国際課

評価対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和3年度 海外移住と文化の交流センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	海外移住の歴史及び意義の継承、地域に在住する外国人等との交流並びに国際的な芸術の交流を通じて、多様な文化が共生するまちづくりに資することを目的として、平成21年6月に開設。以下の3つの機能を併せ持つ複合施設。 ①希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム機能) ②多文化との共生の広場(在住外国人支援機能) ③芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流機能)
(2)指定管理者	海外移住と文化の交流センター共同事業体 【代表者】株式会社カワサキライフコーポレーション 【構成員】一般財団法人日伯協会（以下、「日伯協会」） 【 “ ” 】特定非営利活動法人関西ブラジル人コミュニティ(CBK)（以下、「CBK」） 【 “ ” 】特定非営利活動法人芸術と計画会議（以下、「CAP」）
(3)指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
(4)R3市支出額(単位：円)	協定締結額50,244,000円 決算額・・・・・・48,106,508円 (差額・・・・・2,137,492円は修繕費として精算戻入)

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		3年度の状況
①施設の維持管理業務	②施設の運営業務	・全館の統括責任者1名を中心に、施設・設備管理と3つの機能(部門)をそれぞれ担当する4名の運営スタッフの合計5名が常駐し、センターの運営にあたった。 ・新型コロナウイルス拡大の影響を受け、4/25～5/11は臨時休館となった。 ・設備の保全や清掃業務は外部に委託し、法令点検や定期点検等を行った。 ・館内外の美観の維持に特に配慮し、館内清掃はもとより、正面広場の芝生整備、植栽など、来館者に好感を与えるための施設整備を積極的に行った。 ・昨年度に引き続き電気・ガス等の抑制に努めたが、開館日数の増加(40日増)により電力使用量は前年比で5.1%増加し、ガス使用量は加えて換気強化の影響により前年比で10%増加した。
		○前館日数 294日 ○開館時間 午前9時～午後10時(移住ミュージアムは午前10時～午後5時) ※ただし、新型コロナウイルス対策として閉館時間短縮を行った。 ○令和3年度の特記事項は以下のとおり。 ■希望と未知への船出の広場(移住ミュージアム) (1)企画展 ・心の故郷・神戸と笠戸丸～ブラジル日系社会はここから始まった～(7/10～9/26:889人) ・JR西日本の「ちよこつと関西歴史たじ」と連携した特別展、特別講和(12/5～3/27:2,361人)※TV番組「おとな旅あるき旅」(2021年12月11日放送)での出演 (2)常設展(R3年8月より日本語・英語・ポルトガル語の3言語での音声ガイド(無料)を開始) (3)移住ミュージアム企画委員会の開催 (4)日本人を対象としたポルトガル語教室 ■多文化との共生の広場(在住外国人支援) ・日系人への生活相談 ・日系ブラジル人の子どもたちに対する日本語学習支援教室・母語教室 ・成人日系ブラジル人向け日本語教室 ・CBK設立20周年記念展示会 ・ブラジル・日本の子どもの絵交流展 ・大学インターシップ受け入れ ・南米諸国のお祭り(フェスタ・ジュニーナ)などの集客事業 など ■芸術を生かした創生の広場(国際芸術交流) (1)海外からのアーティストを含む様々なアーティストと市民との交流の場として、アーティストの制作プロセスを公開する「公開アトリエ事業」を実施(アトリエ12室) (2)企画展覧会(18回)を実施し、国内外のアーティストの作品を展示(6,610人) ■3つの広場の連携事業 ・市内大学生と連携したYouTube企画 ・中南米音楽祭 ■その他 ・instagramを開設(R3.4月) ・来館者の利便性向上のため飲料自動販売機の設置 ・袖豆腐組展覧に新入に入室
③その他の業務		■希望と未知への船出の広場 ・蔵書図書・資料リストの整備とホームページでの公開 図書・資料 2,852点 ■多文化との共生の広場 ・第16回 移民写真展(私の移民史) 参加者約660人 ほか
(2)利用状況		3年度の状況
①施設利用状況	②その他利用状況	・入館者数: 令和3年度39,597人(対前年度比126.1%) 令和2年度31,410人(対前年度比△40.2%) ・新型コロナウイルスによる臨時閉館や開館時間短縮の影響を受けてコロナ禍前に比べて減少しているが、JRと連携した企画展を実施するなど昨年度に比べ大幅に入館者数が増加した。(4/25～5/11まで臨時休館) ・貸館対象施設の稼働率(コマ数方式、年間平均、カッコ内は前年) 【全館トータル】57.2%(54.9%) 【1Fホール】44.6%(54.3%) 【2F多目的室】 96.3%(79.5%) 【2Fセミナールーム】 13.7%(13.1%) 【3F小会議室】 52.8%(48.0%) 【3F大会議室】 52.6%(37.1%) 【3Fギャラリー③】 92.5%(100.0%) 【4Fギャラリー①】 72.8%(68.9%) 【4Fギャラリー②】 72.8%(65.4%) 【5Fホール】 16.6%(6.8%)
		・駐車場利用台数 令和3年度:3,684台(約13台/日) 令和2年度 2,690台(約11台/日)
(3)収支状況		3年度の状況
①使用料または利用料金収入	②指定管理者の収支状況	【貸館事業】・活動支援室 令和3年度480,000円 令和2年度480,000円 ・会議室等 令和3年度275,800円 令和2年度81,600円 【駐車場使用料】 令和3年度837,000円 令和2年度640,100円 ※センターへの入館及び移住ミュージアムの見学は無料
		神戸市支出額 48,106,508円 使用料収入 1,813,449円
(4)その他		3年度の状況
①行動指針に対する対応	・行動指針に則った対応をし、多文化共生及び地域活性化の拠点になるよう各事業を実施している。	
②来館者に関する特記	・国内で唯一現存する移住関連施設であることから、大学の研究グループ等による来館がある。 令和3年度:41大学(うち関西圏外12、海外0)のべ87回 令和2年度:24大学(うち関西圏外7、海外0)のべ53回 ・その他、自治体関係者、高校、中学、海外からの視察 等	

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

提案内容(目標値など)		達成状況
①利用者数または利用率	・入館者数 53,000人 ・貸館稼働率 55%	・入館者数 39,597人(未達成:達成率74.7%) ※ただし、緊急事態宣言による休館期間(4/25～5/11)があったが、昨年度比26.1%増となっている(昨年度31,410人)。 ・貸館稼働率 57.2%(達成)
②収入目標額	・貸館事業 380,000円 ・駐車場・・・目標設定なし	・貸館事業 275,800円(未達成:達成率72.6%) ※緊急事態宣言などコロナ禍の影響のため。 ・駐車場 837,000円
③その他新たなサービス	特になし	

4. 利用者の満足度調査等

		3年度の状況
①満足度調査の実施内容	②満足度調査の結果	・調査方法：来館者にできる限り声をかけ用紙を交付し、記入を依頼。 ・調査期間：常時 ・回収件数：令和3年度 550件(令和2年度291件) ・質問項目：来館目的、知った方法、来館回数、展示内容の評価、館内環境、スタッフの対応に対する評価、再訪の意向、同伴者の有無など ・イベント開催時は会場で配布・回収し、回収活動ができるだけ来館者に見える形になるよう工夫。 ・4/25～5/11は臨時閉館のため調査実施できず。
		【施設全般】 ・来館目的(重複回答あり、カッコ内は前年) 移住ミュージアム：57(65)%、在住外国人支援：1(2)%、 国際芸術交流：2(1)%、イベント20(27)%、貸館利用0(0)%、 その他19(9)%、未記入2(2)% ・知った方法 HP7(9)%、観光案内所3(1)%、イベントチラシ9(7)%、新聞3(2)%、学校41(38)% 紹介15(19)%、通りがかり10(15)%、その他12(11)%、 未記入4(3)% ・展示内容 とても良い：64(53)%、良い：27(33)%、普通6(4)%、 あまり良くない：0(0)%、良くない：0(0)%、未記入：3(9)% ・再訪の意向 ぜひ来たい：47(52)%、来るかも：49(43)%、来ない：2(1)%、 未記入：2(3)%
		・利用者からの指摘については、「トイレを改善してほしい」や「Wi-Fiがつながりにくい」との意見があった。 ・アンケート自由意見欄では、「使用された器具の展示や、ビジュアルで示す展示物はわかりやすい」「スタッフの説明がポイントを押さえていて非常に分かりやすく有意義であった」という意見が多数見られた。他には、「良い資料館になっており、多くの人に知ってもらいたい」との意見があった。

5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所 見	・JRと連携したイベントの開催や神戸観光局への入会など意欲的なPRも見られ、また来館者数もコロナ禍での臨時休館があったなか、持ち直しており評価できる。 ・昨年度より悪い点が見当たらない。 ・日本で唯一の移住関連施設であるため、施設のPRに力を入れていただきたい。